

令和7年度府中市立府中第二中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ① 自分を振り返り、主体的に目標を定め課題に取り組む力の不足。
- ② 協働的な活動の中で、説明する力や考えを深めていく力の不足。
- ③ 自己有用感が低い。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 生徒を「能動的に学ぶ存在」として捉え、授業を計画する。
- ② 協働的・対話的な活動の機会を増やす。
- ③ 自分で目標や手段を考えさせる指導を実施する。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ・ 自己を振り返り、メタ認知を適切にできる。【発見・決定】
- ・ 課題に対し、自分に合う方法で主体的に探究できる。【決定】
- ・ 相互肯定ができ、他者との対話の中で考えを深められる。【対話・表現】
- ・ 学習内容の活用方法を見つける。【発見】

(2) 目指す授業像

- ・ 教室のレイアウトなど空間の設定だけでなく、授業の内容・教材・人などの学習環境を、探求心と学びの創出に向けて構築していく。【発見・対話・決定・表現】
- ・ 生徒と教師が共同して授業をつくる。教科のほか、特別活動など教育課程全体で学習環境をデザインしていく。【発見・対話・決定・表現】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・ 基礎学力の定着を図るとともに、知識を体験・見聞とつなげて思考・表現できるよう指導する。【表現】 ・ 見通しをもって自己調整しながら学習に取り組めるように、考えの共有や相互評価する活動を取り入れ、形成的評価を行ったりするなど指導と評価の一体化の充実を図る。【対話・発見】	美術	計画的に作品を制作するための学習調整力をつけることができるように環境を整え、さまざまな技法や知識を活用して、生徒がよりよいものを自分らしく表現できるような指導を充実する。【決定・表現】
数学	教科の特性に合った学びを選択させることを通して一斉指導、個別指導を行い、学力の定着を図る。【決定・表現】	技術	実技の作業においてグループ内での意見交換をする場面を設け、自身の作業に新しいものを取り入れるようにする。【対話・発見】
社会	・ 基礎的な資料の読み取りだけでなく、複数の資料も合わせて考察する課題を設けつつ、考察した内容を発言・文章・図式など様々な手段で表現できるよう指導する。【発見・表現】 ・ 歴史・地理・公民それぞれの分野において、地域や時代、課題を多角的にとらえさせ、それを共有し考察を深めていく。【対話・決定】	家庭	・ 実物模型やワークシートでポイント、タブレットで動画を示す。生徒同士での教え合いができるようなグループ学習も行う。様々な教材を用意し、個々に合う方法で知識・技術の定着と、思考・表現できるようにする。【発見・対話】 ・ クラスルームを使って学習の振り返りを行う。ワークシートで書くことによるインプット、タブレットでアウトプットをさせ、学習の定着を図る。【決定・表現】
理科	・ より深い理解と探求心を育むため、話し合い活動を充実させグループワークを工夫する。意見を共有するために ICT の活用も取り入れる【対話】 ・ 振り返りの時間を確保し、学習シートやノートに今日の学びをまとめる。また、小グループで振り返りの内容を共有し、次の学習へつなげる。【発見・表現】	保健 体育	・ 生徒が、自分自身の目標達成や課題解決に向けて取り組めるように、教具を活用し、スモールステップでの技能習得や、教員による補助を行い、安心感をもたせて積極的に挑戦しようとする機会を作っていく。【決定・表現】 ・ 自分自身の演技、活動の様子を理解して課題に取り組めるように、ICT を活用して視覚的に確認できるようにしたり、ペアやグループ学習を行ったりすることで、お互いの課題を伝えあい、課題解決と技能向上へと繋げていく。【発見・対話】

令和7年度府中市立府中第二中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

音楽	・ 協働的な活動を増やすことで、生徒自身が音楽表現の工夫を考える機会を増やし、生徒の表現力を高めていく。【対話】 ・ 発声練習を習慣化することで、毎回自分の歌声を振り返りながら、自分なりに技能を身に付けようとする姿勢を育てる。【発見・決定】	外国語	・ 授業のはじめに、本時の流れやねらいを板書し、生徒にポイントを押さえさせながら授業を進めていく。【発見】 ・ ペアでの対話、ストーリーリテリング、ALT とのディスカッションなど自分の考えや意見を話す言語活動を通して思考力・判断力・表現力を高める授業を実践していく。【対話・表現】 ・ 表現方法や学び方を自ら選択できるよう ICT を活用した授業展開を図る。【決定】 ・ 指導と評価の一体化、授業中の取り組みや家庭学習との連携を図りながら授業を計画的に行う。【発見・対話・決定・表現】
----	---	-----	--

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

調べ学習、表やグラフ作成、フィグジャムやスライドの作成と発表。【表現】 e ラーニング教材を用いた家庭学習。【発見】 クラスルーム経由の課題配布と回収。クラスや班単位での情報共有。【対話・表現】
--